

きずな

基本理念

「信頼」と「貢献」

患者様の権利を尊重し、理解と納得に基づいた思いやりのある医療を行い、愛され「信頼」される病院を目指します。

地域の方々の健康増進と生命を守るために、また中核病院として地域の医療水準の向上に「貢献」します。

基本方針

- 1 医の倫理に基づき、すべての方々に平等に人格、権利を尊重し、心のかもった医療を提供します。
- 2 常に自己研鑽に努め、高度で質の高い医療を提供します。
- 3 病院内の各部門が相互に協力・連携し、安全な医療を提供します。
- 4 他病院、他診療所等と連携を図り、地域の医療の貢献に努めます。
- 5 医療を通して地域の方々に安心と信頼を得られるよう努めます。



市立湖西病院 健康まつり

CONTENTS May 2012

02 小児内分泌疾患

白須賀中学校の生徒による演奏

お知らせ

03 市立湖西病院改革プラン

04 市制施行40周年記念

市立湖西病院“健康まつり”を開催しました

05 健診センターのご紹介

市民健康講座のお知らせ

06 新任医師紹介

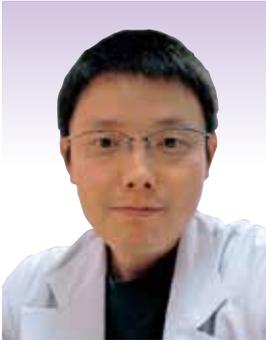
院内合同研究発表

Vol.

11

小児内分泌疾患

小児科医師 佐野 伸一郎



ヒトは、朝になると目が覚めパッと起き上がり一定の血圧や体温を保ち、夜間の眠りについても低血糖や低体温になることなく暮らしています。また空腹感や満腹感を感じ、緊張や不安に直面した時にはドキドキしたりします。これらの日常生活全てにホルモンが働いています。このホルモン調節がうまくいかなるのが内分泌疾患です。内分泌疾患

といえ一番なじみが深いのが糖尿病やバセドウ病、橋本病といった甲状腺疾患だと思います。これらの病気で治療を必要とする子ども達もおり、成人同様に小児期年齢(0才～)でも内分泌疾患は起きてきます。

成人と違って小児内分泌疾患の特徴は、①生まれつき疾患を抱えていることがある。②成長・思春期特有の疾患がある。という点です。①は出生後まもなくから発症し、あるいは新生児マススクリーニング検査によって発見されることが多いです。また生後から乳児期の体重増加や発達が順調でないことをきっかけに見つかることがあります。②が小児内分泌疾患の大切な領域です。子どもはただ体が大きくなるだけでなく適切な知能を身につけ、男児は男性に、女児は女性に成熟していきます。今回は②についてお話します。

現在日本人の平均身長は男性約170cm、女性約158cmです。成人身長に達するまでには3段階あります。成長の著しい0～4才頃までの乳児期、着実に伸びていく乳児期から前思春期、成長スパートの思春期です。思春期以降は成長が緩やかになり18才頃には最終身長に達します。思春期の始まりは個人差がありますので早く成熟が始まる子と遅れて成熟が始まる子がいます。図1のような成長曲線を描くことにより適切な成長があるかを判断します。この成長曲線でわかる代表的な疾患をご紹介します。青線は急激な成長率の増加を認める思春期早発症の子です。赤線は、成長が途中で止まってしまっており脳腫瘍や低栄養などによる成長障害を疑わせます。成長曲線を作成することにより疾患発症時期が判明し、病気の原因をある程度予想することができます。

思春期の体の発育はなかなか本人が言い出せないことがあります。多くの親にとっても正常の発育かどうかの判断は困難です。女児では初経(日本人女児の初経は12才)によりはっきりしますが、男児は分かりにくいです。男児の思春期は睾丸サイズの増加から始まり声変わりが完了の目安になります。一方女児では乳房の発育から始まり初経に終わります。表1に思春期早発症の目安を載せました。

当院の小児科外来には成長曲線に関するパンフレットが常設してあります。またインターネットで【成長曲線】と検索するといくつかの

サイトで成長曲線が作成できます。ただし身長を伸ばすサプリメントや薬を販売しているサイトもありますが、現時点で医学的に効果が証明されているものではありません。身長に関する相談は小児科専門医にお尋ねください。また思春期の発育についてご心配な方は当院の外来にご相談ください。

●表1 思春期早発症

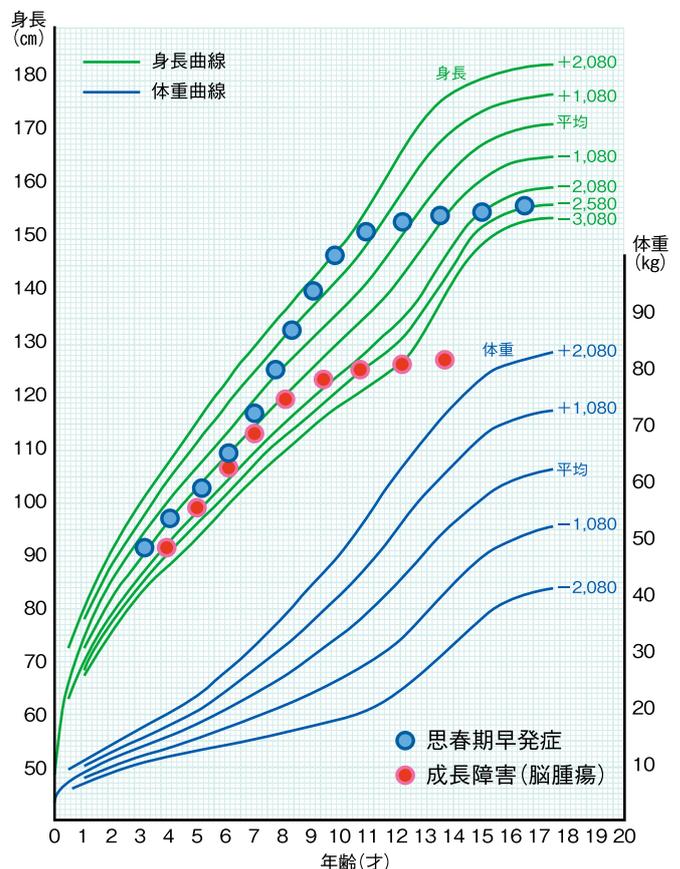
男児の症状
1. 9歳未満で精巣、陰茎、陰嚢等の明らかな発育が起こる。
2. 10歳未満で陰毛発生をみる。
3. 11歳未満で腋毛、ひげの発生や声変わりをみる。

●表2 思春期早発症

女児の症状
1. 7歳6ヶ月未満で乳房発育が起こる。
2. 8歳未満で陰毛発生、または小陰唇色素沈着等の外陰部成熟、あるいは腋毛発生が起こる。
3. 10歳6ヶ月未満で初経をみる。

●図1 身長体重曲線

横断的標準身長・体重曲線 男子(0-18歳)2000年度版



市立湖西病院改革プラン

平成24年度・25年度の数値目標

病院改革プランの計画期間は、平成21年度から平成25年度までの5年間ですが、数値目標は平成23年度までの設定でありましたので、平成24年度・25年度の目標を設定させていただきました。

① 平成24年度・25年度の数値目標の設定

平成24年度及び25年度は、医師数17名で目標を設定いたしました。

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度		H24年度	H25年度
	実績	実績	実績	実績	目標	見込	目標	目標
経常収支比率	97.1	97.1	102.6	99.2	100.3	90.5	90.7	89.9
医業収支比率	83.9	76.0	79.8	77.7	80.8	76.9	77.0	76.2
職員給与費対医業収益比率	57.1	62.8	57.7	60.1	53.2	59.9	60.6	60.6
病床利用率	50.4	43.1	45.3	44.2	70.0	42.0	51.0	52.0
入院患者1人1日当り診療報酬(千円)	37.9	36.9	38.1	38.1	33.1	40.0	39.4	39.4
外来患者1人1日当り診療報酬(千円)	7.4	8.1	8.5	8.4	8.0	8.9	8.6	8.6
年延入院患者数(人)	36,910	31,483	33,060	32,251	51,240	30,774	37,230	37,960
年延外来患者数(人)	91,114	80,889	84,662	89,013	98,245	91,256	97,755	99,200

② 目標達成のための具体的取り組み

取り組みの内容につきましては、下線付きは追加及び訂正をしたものであります。

赤字のものにつきましては、新たに取り組むものであります。

①患者中心の医療の推進

患者様に納得してもらえる医療サービスを提供し、患者本位の「心にかよ信頼と安心の病院」を目標にするとともに、医療事故の防止や感染症対策など医療の安全性を確保します。

【新たな施策】

- クリティカルパスを増やしたり見直しをし、活用します。
- ソーシャルワーカーによる患者様からの退院相談等に依る体制を充実します。
- 医師、看護師、栄養科、リハビリテーション等のチーム医療の連携を推進します。**
- 救急医療体制の充実を図ります。
- 感染認定看護師を配置し、院内感染防止対策の強化を図ります。
- 最新医療機器による診断により、市民の早期治療に貢献します。
- 将来発生が予想される大地震に備え、防災対策の強化を図ります。
- 診療窓口の表示を見やすい案内表示にします。**

②職員にとって魅力的な病院づくり

医師等を確保し、かつその流出を防ぐため、医師等の確保対策を更に強力に進めるとともに、医師等にとって魅力的な勤務先となるよう特色ある当院独自の施策を実施します。

【新たな施策】

- 医師及び看護師の業務負担軽減のため、非常勤嘱託医師及び非常勤看護師の増員を図り、また看護補助者の活用に努めます。
- 海外留学資金貸与制度の活用により常勤医師の確保を図ります。**
- 高等学校への説明など院外活動により看護師の確保を図ります。**

- 認定看護師資格取得制度の活用を推進します。**
- 看護師確保のため、修学資金貸与規則を改正し貸与額の増額を図ります。**

③収入増加・確保対策

経営収支の改善を図るには、制度改正や医療ニーズを先取りして積極的な増収施策の実現が課題となっています。そのため、病診連携の強化等患者様確保のための施策を実施します。

【新たな施策】

- 外来化学療法やフットケアなどの専門外来の充実を図ります。**
- 人工透析患者の増加に対応するため、医師、看護師等の確保に努めます。**
- 未収金を減らすため、支払督促制度や少額訴訟の利用を図ります。**
- 整形外科の常勤医師を採用し、増収を図ります。**
- 医師事務補助加算など、診療報酬加算に積極的に取り組みます。**

④経費削減・抑制対策

病院を運営していくためには、診療に伴う経費と適切な資本整備が必要ですが、経営改善を進めていく上では、収入の増収を図る一方、以下の施策に基づき、経費の削減・見直しに努めます。

【新たな施策】

- ひとり一改善運動を病院全職員に拡大し、経費削減を推進します。**
- 施設整備計画を作成し、計画的な施設管理に努めます。**
- 人件費抑制のため、業務の見直しにより委託職員または非常勤職員の採用に努めます。**

市制施行40周年記念

市立湖西病院“健康まつり”を開催しました

第4回市立湖西病院健康まつりは、3月17日(土)午後1時から市民の皆様約240人のお越しをいただき、盛大のうちに終えることができました。

中央ホールでは、寺田院長のあいさつで幕開けし、新居中学校、白須賀中学校、湖西中学校の生徒による演奏会が行われました。卒業式後ということで3校の参加ではありましたが、美しい音色がホールいっぱいに響き、入院患者様や市民の方が、大きな拍手をおくっていました。

2階の血管年齢や骨密度の測定には、多くの方が整理券の配布を受けようと1時間前から並んでいただき誠にありがとうございました。予定いたしました170人の検査

を実施いたしました。

栄養科ブースでは、塩分0.7%と1%のすまし汁の飲み比べをしていただき、自宅の味噌汁の濃さと味比べをしていただきました。

姿勢改善体操では、理学療法士により歩き方や座る姿勢などについて、日頃気をつけなければいけないことを実技指導いたしました。

なお、浜名学園なぎさ作業所の皆様から手作りの「エコはがき、しおり」を、きぼうの皆様からは手作りの「キッチンマグネット」をいただき、来られた市民の方々に配布をさせていただきます。学園の皆様ありがとうございました。



▲新居中学校の生徒による演奏



▲湖西中学校の生徒による演奏



▲骨密度測定の様子



▲塩分濃度が違うすまし汁の飲み比べ体験をしていただきました



▲院内の研究や活動の様子をポスターで展示しました



▲理学療法士による講演(姿勢改善体操の様子)

来場者の声

- 広報で健康まつりが開催されることを知って、友達を誘って初めて来ました。
- 1年前に湖西病院の救急にかかったので、掲示(見える化発表)の救急室の中の様子を懐かしく見ました。健康に興味があるので、看護体験などしてみたいです。
- 病院の中はなかなか見る機会がないので、来てよかったです。

健診センターのご紹介

仕事に遊びに人生を楽しんでいますか。充実した人生を送るためには健康が欠かせない絶対条件です。健康であるために大切なのは、病気の予防です。当センターでは、早期発見、早期治療ができるように、月曜から金曜日の午前中と平日お越しいただけない方のために、第二土曜日の午前中に予約制で健診を行っています。また、仕事を休めない企業や、当センターにお越しいただけない皆様のために、2台の巡回用検診車を使い、会社や近くの公共施設



での健診を行っています。ぜひご利用ください。大切なご家族のため、楽しく充実した人生をおくるため、年に1回は健診を受けましょう。

『健康診断の結果は大切に保存しましょう』

検査結果報告書が届いたときに、ご自分の結果を確認していますか？

結果が届いてもしっかり見なかったり、中には捨ててしまう方もいらっしゃるようです。

せっかく受診された大切な記録ですから、ご自身の健康のバロメーターとしてぜひ確認し保存してください。もし病院にかからなければならぬ状況になったときに、健康であるときの結果があればそれ以降の検査がスムーズに行われる場合があります。数回分を持参していただければいつの段階から悪くなったかの推移を見ることができます。

特に注目していただきたいのは、判定が「要再検査」・「要受診」



となっている項目です。

「要再検査」・「要受診」となっている項目がある場合は、放置せず、必ず医療機関を受診するようにしましょう。

『特定保健指導を受けましょう』

人間ドックや健診後に特定保健指導を受ける対象となった方に対し、保健師による半年間の支援(動機づけ支援、積極的支援)を行っています。より健康に過ごすためには、食事・運動・生活習慣のバランスが大切です。食べてすぐに寝ない、野菜を先に沢山食べる、できるだけ歩く、また喫煙や飲酒などの生活習慣について気をつける等、日常のちょっとした“体に良い事”の積み重ねが大切です。指導後、受診者の方から「データが改善して嬉しい。」とか、「体調が良くなった。」という嬉しい声も聞かれました。

ぜひ人間ドックや企業の健診及び住民健診を上手に活用してください。指導対象になった方は一緒に改善策を考えていきましょう。

結果が手元に届いたら、判定に「要再検査」・「要受診」の項目がないか確認しましょう

市民健康講座のお知らせ

昨年度、市民健康講座を開催いたしました。皆様のご意見により、今年度は看護部主催の講座も開催することにいたしました。講座を通し、市民の皆様と看護師との交流の場にもしていきたいと思っております。詳細は、市の広報(市役所だより等)及び病院ホームページでお知らせします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

開催時間

受付 ● 午後1時から
講義 ● 午後1時30分から(1時間30分程度)

開催場所

市立湖西病院 2階 講堂

対象者

先着50名(どなたでも参加できます)

講座名	開催日
5月19日(土)	これで安心在宅介護(シリーズ1) 糖尿病とフットケア～みなさま足の手入れは大丈夫ですか?～
7月28日(土)	これで安心在宅介護(シリーズ2) お口の健康を考える～いつまでもおいしく食べるために～
9月29日(土)	これで安心在宅介護(シリーズ3) どうしたらいいの?～清拭・褥瘡(床ずれ)・おむつ交換～
11月24日(土)	子どもの急病時 こんなときどうするの?
1月26日(土)	これで安心在宅介護(シリーズ4) 上手に使おう『介護保険』

新任医師紹介



- ①診療科(専門分野または得意分野) ②出身地 ③当院の第一印象
④趣味(マイブーム) ⑤ひとこと(抱負、最近思うこと等)

平成24年4月1日から、整形外科に杉谷繁樹先生、循環器内科に杉山博文先生、梶原淳先生が赴任しました。

すぎ たに しげ き
杉谷 繁樹先生



- ①整形外科(脊椎疾患および関節内視鏡治療)
- ②兵庫県朝来郡(現朝来市)
- ③個性的な役者と優秀な裏方の揃った、すてきな劇団のイメージです。とにかくコミュニケーションが取りやすい環境です。
- ④音楽鑑賞(ジャズ・クラシック・演歌など何でも)、ゴルフ、スポーツ談義、温泉
- ⑤しばらく欠員になっていた整形外科に常勤でお世話になります。微力ですが、地域のお役に立てればと思っています。高齢者の方々がどうすれば転倒しないかが、これからの最重点課題ではないでしょうか。

すぎ やま ひろ ぶん
杉山 博文先生



- ①循環器内科(虚血性心疾患、心血管インターベンション(PCI)、心不全)
- ②静岡県静岡市
- ③雰囲気明るく、アットホームな感じ
- ④テニス、スキー、スポーツ観戦
- ⑤はじめまして。最近医療崩壊という言葉をよく耳にしますが、地域医療貢献のため、地域の方々に安心していただけるよう頑張りたいと思います。

かじ はら じゅん
梶原 淳先生



- ①循環器内科
- ②山梨県南都留郡富士河口湖町
- ③明るく元気な職場で、アットホームな雰囲気を感じました。
- ④読書、映画鑑賞
- ⑤微力ではありますが、皆様の力になれるように頑張っていきます。これからよろしくお願いたします。

第21回院内合同研究発表会を開催しました

当院では、毎年院内合同研究発表会を開催しています。昨年度は、平成24年2月24日(金)に開催し、全10題の研究発表を行いました。最優秀賞は、看護部外来が発表した『禁煙外来を受診する患者の求める支援についての考察』に決定しました。これは、生活習慣、本人の自己管理能力などにより禁煙を開始、継続できない患者様がいる現状を受け、診察を受けている患者様が禁煙に対してどのような思いでいるのか、患者様の求めている支援とは何かを研究したものです。

今後も各部署とも研究を続け、質の高い医療を目指し、日々患者サービスの向上に努めていきます。

